

まべちだより

2010年6月

Vol. 2

発行
国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所八戸出張所
〒039-1103
八戸市長苗代二丁目5-8
TEL0178-28-2626

5月は「水防月間」期間中の主な活動を振り返ります。

河川管理施設・許可工作物点検 H22年5月24日～25日

これからの大雨、台風シーズンを前に、河川管理施設（主に樋門・樋管）と許可工作物（河川管理者の許可を受けて設置される施設）の点検を実施しました。

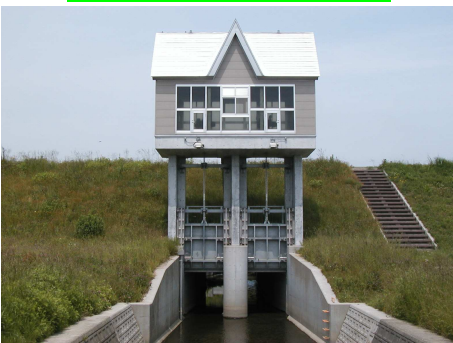


樋門・樋管については、ゲートの開閉が正常であることを確認。日常の管理や点検のポイントについても操作員さんと話し合いました。



河道内に設置してある取水施設等の許可工作物については、河川の増水に十分耐えられる造りであること等について確認しました。

樋門・樋管について



施設の規模が大きいものを樋門・小さめのものを樋管と呼ぶことが多いですが、その区分は明確ではありません。

住宅地側からの排水、農工業用の取水等、それぞれ設置目的は異なりますが、多くの樋門・樋管が住宅地側からの排水路として機能しています。河川が増水したときに住宅地側への逆流を防止するため、樋門・樋管にはゲートがついています。

八戸出張所管内では、ほとんどの樋門・樋管のゲート操作を馬淵川の近くに暮らしている地域住民の方々をお願いしています。操作員の皆さんは、過去の洪水時の豊富な経験・知識を活かし、出張所と連携しながら、災害の被害低減のため活動しています。

「排水ピット」を使った排水ポンプ車の訓練を実施しました。5月28日



浅水川排水樋門の「排水ピット」と「排水ポンプ車」



排水用のホースを馬淵川へのぼしていきま



複雑な手順も連携でカバー

過去の洪水で何度も住宅の浸水被害を受けている八戸市尻内地区の「浅水川排水樋門」と「長苗代第二排水樋管」には、堤内側の支川・水路との接続部に、近年「排水ピット」という大きな水槽が設置されました。

洪水時に樋門・樋管のゲートを閉めることによって支川や水路の水が行き場を失っても、ピットに水を集めることによって、排水ポンプ車を使って効率的に馬淵川に水を逃がすことができます。これらの作業で周辺住宅地の内水氾濫を低減することが可能となりました。

本格的な洪水シーズンに向けて、実際の洪水を想定し、「排水ピット」を使った排水ポンプ車の稼働訓練を実施しました。